

「第35回三重県武術太極拳フェスティバル」開催 県内団体を3つの地域に分け、恒例の24式太極拳合同演武を披露

初夏のような陽気の4月29日（水・祝）、鈴鹿市にあるAGF鈴鹿体育館にて、「第35回三重県武術太極拳フェスティバル」が開催されました。この日はゴールデンウィーク初日ということもあり、約300人の参加者が集まりました。

県内の団体を3つの地域に分けて、それぞれが合同演武する24式太極拳も恒例となり、年に一度の交流を

深める機会を楽しみました。

また団体ごとに日ごろの練習の成果を発揮した活気のある演武に加え、大会運営への積極的な協力でスムーズな進行ができました。「また来年もよろしく」とお互いに言葉を交わし、終始笑顔あふれる大会となりました。

（鈴鹿地区フェス担当理事 新山 美子）



団体ごとに日ごろの練習成果を発揮した活気ある演武を披露